

支部社協通信

第10号
平成22年9月1日発行
西条市社会福祉協議会
地域福祉課

支部社協紹介

今号では、石鎚山に源を発する加茂川左岸中流から下流の西方に位置する神戸支部を紹介します。

「神戸」という地名は伊曾乃神社にまつわる「神の土地」が由来であるといわれ、伊曾乃神社の秋祭りは、神戸の夜明けを待たずに始まり加茂川の川入りで終わる全国的にも有名なお祭りです。また、天正13年の高峠城（たかとうげじょう）落城の戦で多くの命が奪われたという歴史があり、地区内には多くの経塚が見られます。

当地区は農村地帯で、約247ヘクタールの農地（農業振興地域約150ヘクタール含む）を有し、米、麦のほかに夏場は「絹皮なす」、冬場は「ほうれん草」と昼夜を問わず生産に励み、「ほうれん草御殿」と呼ばれる家屋が建てられる等、盛況を極めた時代もありました。

しかし、取り巻く環境変化と共に農業従事者の高齢化や後継者不足等が起因し、農業生産量は大幅に減少し、農業も衰退しているのが現状です。

神戸支部

支部長 高木 勇



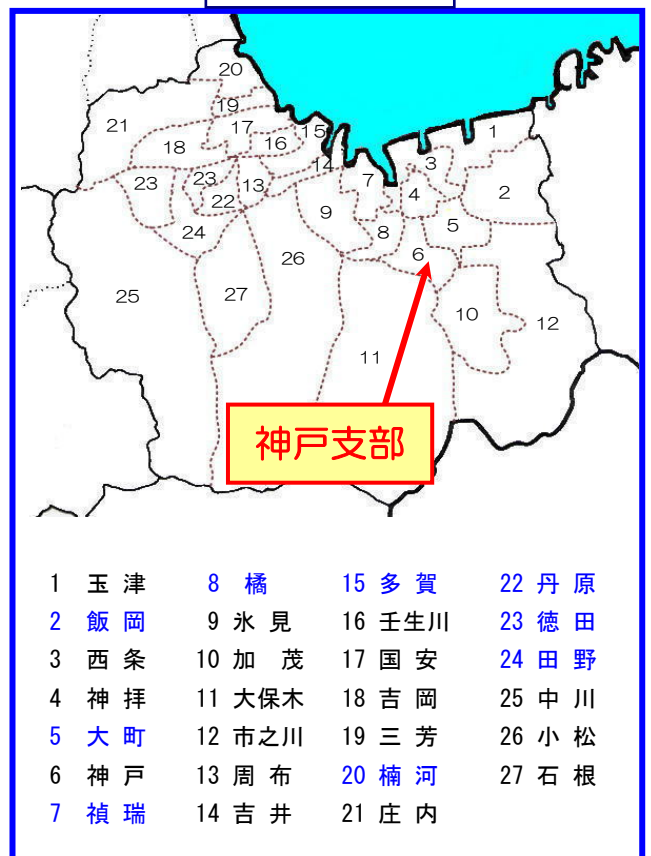
当地区の高齢化率は約29%に達し、子どもの暫減により神戸小学校児童数は約200名となる等、少子高齢社会を背景とする福祉対策、ふれあいの場づくり等が急がれる課題となっています。

多様な福祉ニーズに対応するため、平成14年度から支部社協組織を福祉推進員21名からなる新組織（自治会4名、長寿会4名、婦人会4名、民生・児童委員8名、社協支部長）へと移行し、各種関係団体との連携強化を図り、「地域福祉は全体で支えていこう」と地域福祉推進事業に取り組んでいます。

新組織は、小学生を主対象に取り組んでいる「児童の健全育成事業」にも十分生かされ、また、他の地域事業（史跡巡り、しめ縄づくり、防災活動等）でもコミュニケーションがとりやすい等好影響を与えています。

また、地域住民のご理解とご協力により「社協会費」「共同募金等」活動もスムーズに行うことができ、その還元金を各種関係団体の助成金や事業費にあて、地域の福祉事業の向上に役立てています。

27支部位置図



神戸地区はこんなところ

■基本情報（平成22年6月末現在）

人口 : 3,759 人

世帯数 : 1,488 世帯

自治会数 : 34

施設等 : 保育園、幼稚園、小学校、神戸公園、老人憩いの家、湯之谷温泉、野菜集荷場等



■地場産業

農業（米、麦、ほうれん草、絹皮なす、柑橘等）等

■名所等

伊曾乃神社、新宮神社、古茂理神社、前神社、保国寺、津越の滝、高峠城跡、土居構跡等

■伝統・行事等

伊曾乃神社秋祭り、古茂理神社相撲大会、区民ふれあい運動会、盆踊り大会、球技大会、いもたき、春秋一斉清掃、もちつき大会、ミニデイ、文化祭、神戸キラキラ広場等





自慢の支部事業

今回は、支部社協の協力事業である「神戸キラキラ広場」を紹介します。

毎年12月には神戸東光(かんべとうこう)自治会内の旧国道11号線沿い約300m(神戸公民館付近)は、工夫を凝らした色鮮やかなイルミネーションで賑わいます。

このイルミネーションは、地区内の電気関係技術者の指導と呼びかけによって始まったのがきっかけで、その後、イルミネーションの数も大幅に増えて、クリスマスには「神戸キラキラ広場」と銘打って小学校合同イベントを行う等、現在では地域交流を深める恒例事業となっています。

- | | |
|--------|---------------------------|
| 1 事業名 | 神戸キラキラ広場 |
| 2 目的 | イルミネーションを通じた地域交流 |
| 3 実施内容 | 神戸小学校校庭等のイルミネーション、サンタの行進等 |
| 4 実施時期 | 12月 |
| 5 実施場所 | 神戸小学校ほか |



～ 校庭のイルミネーション ～



平成2年頃から個人規模でイルミネーションはしていましたが、神戸東光自治会の旧国道11号線沿いを中心にイルミネーションの数も増え、平成14年には神戸小学校PTAが主体となって校舎南側や校庭の樹木等へ電飾を取り付け、神戸小学校を拠点とするイベント「神戸キラキラ広場」を始める等その規模も一段と大きくなりました。最近ではテレビ中継等によって、地区外からの見物者も大幅に増え、交通規制されたりする等地域住民も困惑する反面、嬉しい悲鳴も聞こえてきます。普段は閑静な旧道ですが、イルミネーションされたこの時期は付近一帯が別世界となります。

神戸キラキラ広場での「サンタの行進」は、加茂川河川敷を出発し、イルミネーションされた旧国道に沿って住民が掲げるキャンドル(長寿会手作り)の中をトナカイやサンタに扮した有志約30名が小学校まで行進するのですが、トナカイが引くイルミネーションされた車にはたくさんのクリスマスプレゼントが積み込まれ、たくさんのサンタと子どもたちが取り囲みながら小学校目指して行進します。

小学校ではあたたかいぜんざい等が用意され、平和を願うコンサートやじゃんけん大会、ピンゴゲーム等も行われます。校庭はイルミネーションのため明るく、子ども達は夜の更けるのを忘れるほど賑やかに遊んでいます。

支部社協としましても、イルミネーションの手伝いをしたり、役員がサンタ等に扮したり、実施費用の一部を負担したりと積極的に本事業に参加し、地域の交流を深めています。

年末の恒例事業として、地域住民がふれあう場として大きな役割を果たしていますが、イルミネーションに照らし出される参加者の笑顔はいつもよりキラキラ輝いている気がします。

～ まちのイルミネーション ～



～ サンタの行進 ～



～ 会場ステージ ～



社協からのお知らせ

～ 敬老の家事業について ～

敬老の家事業は前期と後期に分かれ、2回実施できます。

10月1日以降に実施される場合は、後期分として扱うこととなりますので、2月末日までに実施してください。

なお、地区別で実施される場合は、支部でとりまとめて助成金交付申請書(実績報告書)の提出をお願いいたします。

詳しくは地域福祉課(山内・飯尾)までお問合せください。

- ・前期・・・開催時期(4/1～9/30)
- ・後期・・・開催時期(10/1～2/28)

～ 共同募金委員会からのお願い ～

第64回共同募金運動が10月1日から12月31日の期間行われます。

共同募金は社会福祉団体や施設からの申請を受け、配分先を予定し、目標額を定めた上で行う計画募金で、社会福祉事業・地域福祉推進事業を力強く支えています。

共同募金で地域の福祉を充実させるため積極的な取り組みをお願いいたします。